



学校法人長岡学園 清田幼稚園だより

のびのび

令和5年1月25日 No.13 (2月号)

3学期がはじまりました!!

満2歳児の預かり保育 りんごぐみ

宮下 みほ

冬休みが終わり、3学期が始まりました。先日の始業式では、子どもたちは元気いっぱいに登園し、お友達や先生と久しぶりに会って、とても嬉しそうでした。また、園庭の大きな雪山に目が釘付け！これから始まる雪遊びに期待いっぱいの始業式でした。

さて、今年度から始まった2歳児のりんごぐみでは、現在2名の子が在籍しています。初めは不安な姿も見られますが、無理せず園生活慣れていけるようにゆったりとした雰囲気の中で保育を行っています。園生活を過ごす中で、少しずつ基本的生活習慣を身に付けていきます。

2歳頃は色々なことに興味を持ち、たくさんのかんことを吸収していく大切な時期です。りんごぐみでは、その子の「やりたい」「やってみたい」が生まれる基礎作りのお手伝いができるように、日々様々な遊びを提案し、楽しく過ごせるようにしています。無料体験も行っていますので、ご興味のある方はぜひ参加していただけたらと思います。



りんごぐみの保育では、年少から年長の子とも触れ合う機会も多く、互いにより刺激を受けながら遊んでいます。年長さんがりんごぐみの子と接する姿はまるで大人のように、小さくかがんで視線を合わせながら遊んでいます。また、うまく言葉にできない気持ちを表情やしぐさから汲み取り、遊びをリードしています。「さすが年長さんだなぁ！」と感心するとともに、私が気付かなかったことまで理解していることもあり、改めて「子どもの力はすごいな」と驚くことばかりです。年中・年少・満3の子も、「優しくしてあげたい！」と、一生懸命お世話をしてくれます。初めは上手に関わることが出来る、「なんでこっちに来てくれないの？」と思い通りにならないことに戸惑うことも多いようですが、先生や年長さんの接する姿を真似するなど様々な経験を経て、自分で考えて行動し、相手の気持ちを思いやれるよう学んでいく様子が伺えます。りんごぐみの子もお兄さん・お姉さんと一緒に遊ぶことでお友達と遊ぶ楽しさを味わったり、新しい遊びの世界が広がっています。異年齢の子どもたちが互いにかかわりながら成長して行く姿を間近で見ることができて、私もとてもうれしく思っています！

今年度の締めくくりである大切な3学期も、子どもたちの笑顔あふれる、充実した日々を過ごせるようにしていきたいと思っています。今学期もどうぞよろしくお願いいたします。



みんなで子どもを育てる地域交流「共育て」

事務・広報担当 長岡 宏美

現在、清田郵便局で開催している年中さんの作品展示をはじめ、子育てサロン〈どんぐりひろば〉、5月の“世界で一つのこいのぼり”厚別川掲揚など、例年の活動に加え、今年度は“地域交流”や“子育て支援”にも力を入れてきました。というのも、今の乳幼児～在園児のお子様は、新型コロナ禍で生まれたこともあり、近しいご家族や友人以外の地域の方と交流する機会が少ないのではないかと危惧しているからです。

私自身、幼児～小学生の母ということもあり、友だちと遊ぶことも、家族で動物園へ行くことも、コロナ禍以前であれば普通にできた多くの日常や経験の機会を奪われ、やりきれない時期を過ごしてきました。家に缶詰め状態で、親子でストレスを抱え、ぶつかり合うこともありました。その中で、唯一良かったことは「やはり人は、たくさんの人に支えられて生きているのだ」と感じ、「人のつながりの大切さ」を改めて認識できたことです。私は広報担当ですので、子どもたちの成長につながる活動であることはもちろん、幼稚園の魅力をも多くの方へ伝え、地域の方々に、「今を生きる子どもたちの姿を見ていただきたい」、「子育て世代への理解やご支援・ご協力をいただける」という思いで活動してきました。そういった思いもあり、一方的な園の情報発信というより、地域の“人とのつながりが生まれる場”を創出することを目指しました。



昨年末、清田郵便局へ展示する作品の製作時、年中さんの子どもたちは、自分たちの作品がまちへ飛び出し、家族やたくさんの人に見てもらえることをとても楽しみにしていました。一方、清田郵便局の利用者の方は、多くの方が、子どもたちの作品を見て「癒されるね」と窓口職員さんへお話しして下さるそうです。目には見えないけれど、わが子の作品が、誰かに元気を届けられたこと、心がつながったんだなと思うと、なんだか嬉しいですね！



子育てサロン〈どんぐりひろば〉は、春にはお母さんの影に隠れていた子も、自分から好きな玩具へ駆け寄り寄る姿もあり、親と子だけの世界から、子どもと子ども、子どもと先生と、関わりを広がらせています。保護者同士も顔なじみも増え、子育ての楽しさや悩みを気軽に話し合える雰囲気が徐々にできていくのではないかと感じています。



Eテレ等、教育番組でおなじみの東京大学名誉教授 汐見稔幸先生が提案されている「共育て」という言葉があります。園だけでなく、保護者、地域の住民、園に出入りする外部の関係者など、様々な立場の大人が手を取り合って子どもたちと一緒に育てていく、という考え方だそうです。『のびのび』をご覧の方からも、今後の清田幼稚園の地域交流活動・子育て支援について、ご意見・ご感想などいただけると幸いです。

マスク着用の緩和のニュースが報道されています。子どもたちの、素の笑顔が見られる日を楽しみに、今後も交流の場を設けていけたらよいと思います。

《清田郵便局の展示開催中！！》

1月18日(水)～31日(火)こぐま組 / 2月1日(水)～14日(火)こいぬ組
平日9:00～17:00(郵便窓口営業時間内・最終日は16:00まで)

製作の様子も
園ホームページ
で公開中！

2月の保育目標

満3歳	自分の言葉で思いを伝える
年少	新しいことに興味をもち苦手な事もやってみようとする
年中	何事にも失敗を恐れず、挑戦しようとする
年長	今までの経験から、何事も自ら考えて取り組む

2月の予定

スポーツ教室

①10:30～
②11:00～
③11:30～

〔ズボン着用をお願いします〕

写真撮影〔1日(水)〕

卒園・修了を記念し、クラス全員の集合写真を撮ります。

豆まき〔3日(金)〕

お遊戯室で豆まきをします。鬼の登場があるかもしれません！
豆まきのあとは、お部屋で大豆を食べます。

年中・年少・満3歳児

個人懇談

〔20日(月)・21日(火)〕

詳細は1月20日のお便りをご覧ください。

2月の誕生会〔15日(水)〕

詳細は、改めてお知らせします。

ぞうぐみ クラスお別れ会

〔28日(火)〕

詳細は、改めてお知らせします。



1 (水)	写真撮影	給食
2 (木)		弁当
3 (金)	豆まき	給食
4 (土)		
5 (日)		
6 (月)	スポーツ教室 ①こぐま・こいぬ ②しか・ぞう ③りす	給食
7 (火)	にこにこくらぶ	弁当
8 (水)		給食
9 (木)	にこにこくらぶ	弁当
10 (金)	スポーツ教室 ①ぱんだ・いちご ②うさぎ・ひよこ	給食
11 (土)		
12 (日)		
13 (月)	スポーツ教室 ①うさぎ・ぱんだ ②ひよこ・いちご	給食
14 (火)	にこにこくらぶ	弁当
15 (水)	誕生会	給食
16 (木)		弁当
17 (金)	スポーツ教室 ①しか・りす ②ぞう ③こぐま・こいぬ	給食
18 (土)		
19 (日)		
20 (月)	年中・年少・満3歳児 個人懇談	午前
21 (火)	年中・年少・満3歳児 個人懇談	午前
22 (水)		給食
23 (木)		
24 (金)	スポーツ教室 ①こぐま・こいぬ ②しか ③ぞう・りす 〈上靴持ち帰り〉	給食
25 (土)		
26 (日)		
27 (月)	スポーツ教室 ①ひよこ・いちご ②うさぎ・ぱんだ	給食
28 (火)	ぞうぐみ クラスお別れ会	弁当

雪あそび週間

《年少ぱんだぐみ・満3歳児いちごぐみの作品》《はらぺこあおむし》



今回は職員室横の掲示板に、ぱんだぐみさんといちごぐみさんの作品を掲示しています！

2学期にみんなで集まり、クラス混合の3～4人のグループで、お花紙を丸めて『はらぺこあおむし』を作りました☆

体のパーツはグループごとに好きな色のお花紙を貼り合わせていき、顔は全員で一つずつ貼り合わせ、完成させました♪

最初は少し緊張していた子どもたちでしたが、互いに教え合いながら仲良く取り組む姿が見られました！

【雪遊びのお知らせ】

園庭に大きな雪山もでき、天気の良い日には楽しそうに外で雪遊びをしています！

園庭での遊びは、子どもたちが自分で選んで活動します。お子さまが雪遊びをしたい日は、スキーウェア・手袋・帽子を身に付けて登園させてください。雪遊びの準備は「のびのび12月号」を参照。持ち物には必ず名前を記入してください。

※月・火・水の雪遊びでは、絵の具で色水を作り、ペットボトルの中に入れて、雪を着色して遊ぶこともあります。その際は、ウェアに色がつくこともありますので、汚れてもよいウェアを着せてください。

【全園児雪遊び週間】



《1回目》1月23日(月)～1月27日(金) 《2回目》2月6日(月)～2月10日(金)

上記期間は全園児で雪遊びをします。
風邪など、体調がよくない場合は、当日の朝までに担任までご連絡ください。



スノーキャンドル作りをしました



力を合わせてかまくらを作りました